

一般社団法人

リペアエコノミー協会について

概要

団体名称：

一般社団法人リペアエコノミー協会
(Repair Economy Association, Japan)

所在地：

東京都新宿区新宿5-15-14 INBOUND LEAGUE 502

設立：

2018年3月22日

HP:

<http://www.repair-economy.jp>

EMAIL：

info@repair-economy.jp



協会について

修理によるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に向けて！

21世紀に入り、私たちは技術の発展により様々なモノにイノベーションを起こし、利用しています。代表されるのモノが「スマートフォン」「IoT製品」「PC」などの電子機器ではないでしょうか。

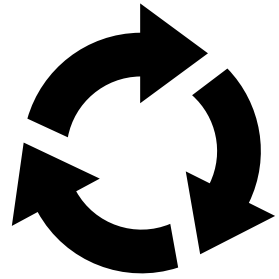
技術が発展していくと、それに応じてデバイスの中身はどんどん複雑になり、モノを作り、壊れたら「捨てる」ことが前提の消費経済が加速していることに疑問を持ち、壊れたら「修理」して長く使い続け「捨てる」ことを前提としない新しい経済「リペアエコノミー（修理経済）」が普及していくべきだと確信しております。

この新たな経済を業界全体で一丸となって活性化していく、それがリペアエコノミー協会を設立する狙いです。

また、リペアエコノミーは、サーキュラーエコノミー（循環型経済）とコラボラティブエコノミー（共同経済）の両側面から語ることができると思います。「壊れたものを修理しながら長く使い続ける」という前者の概念と、理念に共感した人々がそれぞれの知見を生かしながら「相互に助け合い、学び合いながら修理を実践する」という概念は、どちらが欠けても機能しえないのです。

リペアエコノミーがこれからの日本の経済の発展を支える一つの概念・仕組みになることを目的に今後この協会が中心となって様々な活動を行っていきます。

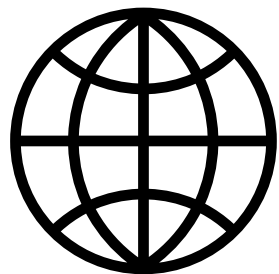
協会が目指すもの



「壊れたものは修理して長く使い続ける」ことを普及することでリペアエコノミー（修理経済）を活性化させ、日本全体の発展に寄与すること。また、その環境を構築すること



すべての人が様々なカタチでこの経済行為に参加できる社会の実現



グローバルで活躍できるリペア・エンジニアを増やし、リペア分野での「ジャパン・クオリティ」の実現

会員対象者・会費

(1) 正会員（社員）

協会の理念に賛同し、代表理事の承認を得た法人・団体

入会金：100,000円、月会費：50,000円

(2) 特別会員

協会の理念に賛同していること、または、修理ガイドや部品、設計図などを提供できる法人・団体

入会金：50,000円、月会費：30,000円

(3) 保守会員

協会の理念に賛同し、電子機器を保守（主に修理）を協会に委託したい設立5年未満の法人・団体

入会金：30,000円、月会費：10,000円

(4) リペア会員

協会の理念に賛同し、修理事業を行っているまたは、関心のある個人または法人・団体

入会金：3,000円、月会費：1,000円

(5) 賛助会員

協会の理念に賛同し、共にリペアエコノミー（修理経済）の拡大・発展を進めていただける法人・団体

入会金：50,000円、月会費：30,000円

会員特典

会員種別	入会金 月会費	研修参加 機会提供	イベント 勉強会参加	保守 委託	タイアップ 企画実施
特別会員	5万円 3万円	☒	☒	-	☒
保守会員	3万円 1万円	☒	☒	☒	☒
リペア会員	5千円 3千円	☒	☒	-	-
賛助会員	5万円 3万円	☒	☒	-	-

- <会員共通特典>
- ・ ビジネスマッチング
 - ・ 特別価格（研修）での参加
 - ・ 特別価格（修理部品や工具）での購入
 - ・ 各種イベント・勉強会への特別価格での参加
 - ・ メール等での協会からの情報提供等

※会費の支払い方法は年額（12月までの）の一括払いとなります

※年度の途中から入会いただいた際は、月割での金額のお支払となります

※2年目以降についても、年間契約とし、途中退会をする際も1年間の会費を支払わなければなりません

※退会は、1か月前までに指定の退会届をご提出いただきます



具体的な取り組みについて

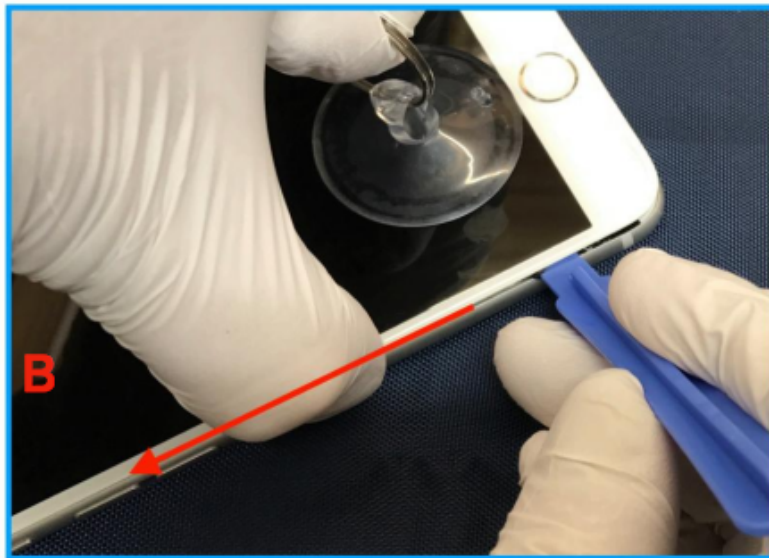
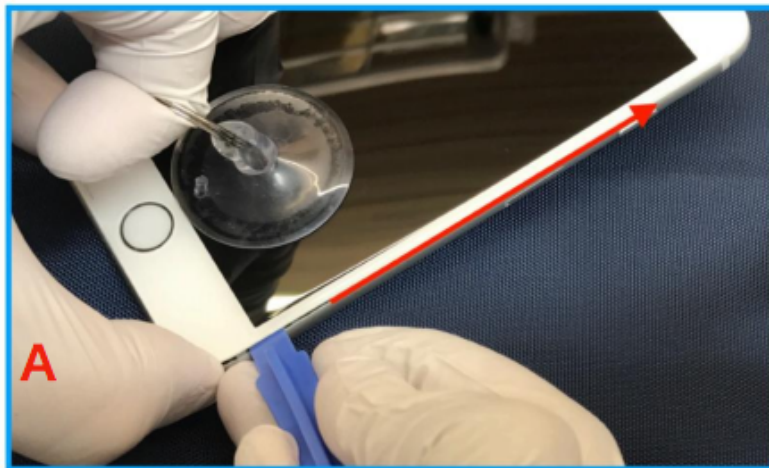


修理ガイドの整備と部品の提供

スマートフォン（iPhone/Android）・IoT機器・ドローン・ゲーム機などの電子機器の修理ガイドを順次整備・公開し、修理用の部品も提供します。

STEP
2

ディスプレイを開ける

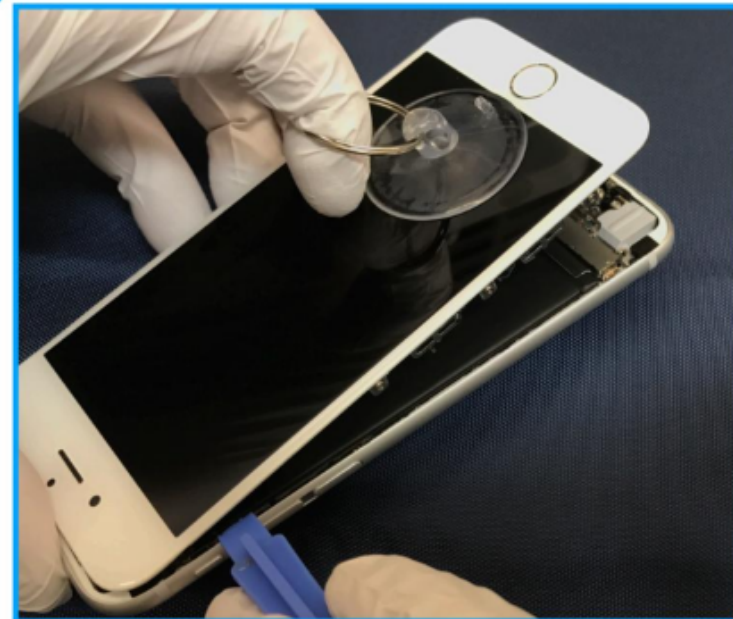


A : 本体フレームの右側にブルースティックを挿入し矢印方向へスライドさせ、シールを剥がします。

B : 左側も同じようにシールを剥がします。

STEP
3

ディスプレイを固定



ディスプレイの底面を本体から90度の角度になるまで持ち上げます。

注意：ディスプレイを本体から取り外そうとしないでください！
iPhoneの上部には、まだ4本のフレックスケーブルが取り付けられており、この段階でディスプレイを取り外すとケーブルが破損する可能性があります。



リペアカフェの開催

定期的に誰でも参加できる「リペアカフェ」を開催します。

修理したい・分解してみたい電子機器をそれぞれで持ち寄り、店内スタッフ

（ボランティア）やお客様同士と一緒に修理をしたり、分解をすることでモノを今までと違った見方で捉え、その価値を見直す機会の提供と、「修理」という行為が楽しく意外に簡単であるということを知ってもらう無料のイベント活動。

※リペアカフェは、オランダのアステルダムに本部をおく「リペアカフェ財団」へ登録済み。



スタートアップのサポート

保守会員向けに、スタートアップ（設立5年未満）が製造するIoT機器やドローンなどの修理をサポートし、スタートアップの「ものづくり」をサポートします。

（すでにOQTA（株）のIoT鳩時計の保守が確定）

また、製造前から関わり、修理しやすい構造や調達しやすい修理部品の使用及び確保について指導・アドバイス・推奨を行います。



The screenshot shows a crowdfunding page for 'OQTA' IoT Pigeon Clock. On the left, there is a video player with a '再生' (Play) button and the text 'キズナ 聞こえる 鳩時計' (Kizuna, I can hear, Pigeon Clock). Below the video is the OQTA logo and the tagline '思いが届くIoT' (IoT that reaches your heart). On the right, the campaign status is displayed: '集まっている金額' (Amount collected) is 6,327,500円, '目標金額' (Target amount) is 1,000,000円, and the progress bar is at 632%. The number of supporters is 279, and the campaign has ended, indicated by '終了しました' (Ended).

離れていても家族との繋がりを音で感じる IoT×鳩時計「OQTA」



リペアエンジニア資格通信講座の実施

「リペアエンジニア」資格の通信講座について

スマートフォンなどの身近な電子機器の修理技術や知識を身につけ、壊れたら「買い換える（捨てる）」のではなく、修理して「長く使い続ける」ことを実践し、その魅力や価値を社会に広めることができるスペシャリストを通信教材で育成するカリキュラムです。

なお、現在この通信講座で習得できるスキルは「iPhone6～Xの画面修理及びバッテリー交換」のiPhoneエキスパートコースのみとなります。

[概要](#)[準備中 選べるコース](#)[取得の流れ](#)[費用について](#)[資格の活かし方](#)[サポート・会員特典](#)[申し込む](#)

ビジネスマッチングの提供

会員同士で親和性がある場合、両社の架け橋となり、オープンイノベーションに積極的に貢献します。



各種イベントや勉強会の開催

全会員向けに、リペアに関わるイベントや勉強会を定期的の実施します。

